



## 取組の概要

### とことん SDGs ! ① -目標 11 住み続けられるまちづくりを-

- ・プロジェクトを通じて下水道の必要性や水循環を学習し啓発方法を研究
- ・「SDGs・おかげさまで魅力発信展」へ協同出展し、教員と生徒が考案した**体験学習型アクティビティ**を使い、生徒自らが下水道の正しい使い方を説明・PR。体を使って楽しみながら学べたと来場した**親子から大好評**
- ・プロジェクトの**紹介パネル**を生徒と共に作成し会場で展示
- ・**デザインマンホール**のコースター配布や**フォトスポット**を設置し、来場者の興味を引くブース作りを実施



### とことん SDGs ! ② -目標 14 海の豊かさを守ろう-

- ・生徒も注目していた「マイクロプラスチック問題」の対策に効果のある取り組みとして、ヘチマたわしを使用する活動を選択
- ・この問題を契機に、海の豊かさに関連する下水道事業や水循環を学び、環境にやさしい取り組みを実践



### とことん SDGs ! ③ -目標 12 つくる責任つかう責任-

- ・ヘチマ育成に浄水場の汚泥や下水汚泥を含む肥料を使い、上下水道事業について理解を深める
- ・日常生活に欠かすことができない水道、下水道を使うことについて考える
- ・園芸ネットは部活動の廃品、プランターは廃棄予定のもの、鉢の名札には間伐材を使用

### とことん SDGs ! ④ -目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに-

- ・ヘチマのグリーンカーテンで「夏場の教室が少し涼しくなる」ことを体感
- ・光合成による CO2 削減で地球温暖化防止に微力ながら貢献



### その他

- ・生徒のアイデアをもとにヘチマタワシの商品化等のブランディングを検討
- ・協同出展をインターシップとすることで、生徒の積極的な広報活動を促し、さらに、学校での協同事業の継続の動機づけを図った

## 成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

### ① 生徒に日常生活の下水道の正しい使い方と SDGs の関連を認識してもらい広報マンに

- ・プロジェクトを実施した**クラスの生徒4割が「日常生活で下水道を意識するようになった」と回答**

### ② ショッピングモールで体験型の啓発活動等を生徒が実施

- ・下水道の正しい使い方を学ぶ体験型アクティビティを生徒が自作
- ・参加者 **586 人**に**体験や対面で下水道の使い方を啓発**
- ・学校内ではパネル展示で生徒、教員、来校者に情報発信

### ③ 事業の継続につながるアイデアを生徒が提案

- ・種を小学校等に分けて活動を広げたいと生徒も奮起
- ・生徒発案のアイデア数は **12 種類**

### <プロジェクトに参加した生徒の声>

- ✓世界中に下水道が広がってほしい！
- ✓当たり前だと思ったこの環境の有難さを実感しました！
- ✓下水道についてできることは思いつかなかったが、経験することで協力できることがあると思った
- ✓小さい子ども達も興味津々に話を聞いてくれた

＼生徒から集まった多彩なアイデア／

